

国語 二一	第三学年及び第四学年の内容 慣用句	名前	年	組	番
----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の に当てはまる言葉をあとの から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① 母はお祝いいはの日の料理ひ りょうりでは、いつも以上いじょうに、 をふるう。

② 野球場やきゅうじょうにいる観客かんきやくは、彼の見事かれ みごとな技わざに をまいた。

③ バスケットボール大会たいかいの本番ほんばんを前まえにして、 が騒さわぐ。

④ 何度なんども をはこんで、ようやく撮影さつえいすることができた。

血 <small>ち</small>	足 <small>あし</small>	うで	舌 <small>した</small>
--------------------	---------------------	----	---------------------

A 自分じぶんの前まえ・技能ぎのうを存分ぞんぶんに人ひとに見みせる。

B あることのために、わざわざ出向でむく。

C 気持ちきもちが高たかぶって、じっとしていらなくなる。

D あまりにもすぐれていて、ひどくおどろく。

国語 二一二	第三学年及び第四学年の内容 慣用句	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日
月 日

次の に当てはまる言葉をあとの から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① 学校の帰り道に、いつも を食っている。

② を売ってばかりで、なかなか家に帰ってこない。

③ 正しい答えを出そうと、 をひねる。

④ わたしの家の庭は、 のひたいほどの広さしかない。

油	ねこ頭	道草
---	-----	----

A きわめてせまいことのたとえ。

B むずかしいことを、熱心に考えること。

C 人目をぬすんで、なまける。

D とちゅうで、他のことに時間をついやす。

国語 二二三	第三学年及び第四学年の内容 慣用句	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の に当てはまる言葉をあとの から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① 社長の の一声で、計画が決まった。

② そのふたごは、まるで 二つだ。

③ をつかむような話で、とても信じられない。

④ 彼とは、みように が合う。

うり	つる	馬	雲
----	----	---	---

A 顔かたちが、よくにている。

B 立場が上の人の一言でものごとが決まる。

C 相手とおたがいに、気心が合う。

D まったくつかみどころがない。

国語 二一四	第三学年及び第四学年の内容 慣用句	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日
月 日

次の に当てはまる言葉をあとの から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① 二つのチームが、 を散らして、優勝をあらそう。

② 転校していく友達のために をこめて歌う。

③ 努力は必ず を結ぶと信じている。

④ 兄の をわったようなせいかがうらやましい。

実	火花	竹	心
---	----	---	---

A たがいにはげしく、勝負をあらそう。

B 努力の結果が表れ、成功する。

C 思いやりの気持ちで、心の中をいっぱいにする。

D せいかくが、さっぱりしている。

次の に当てはまる言葉をあとの から選**え**び、書**か**きましょ
う。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選**え**び、
に書**か**きましょ。

① 会**かい**場が、急**き**に を打**う**ったようになる。

② 悪**わる**者は、 を散**ち**らすようににげさつた。

③ 物**もの**かげから を殺**ころ**して、様**よう**子をうかがう。

④ がはずみ、時**じ**間**かん**がたつのをわすれていた。

息 <small>いき</small>
話 <small>はなし</small>
くもの子
水 <small>みず</small>

A 大**だい**ぜいのものが、散**ち**り散**ち**りになつてにげていくこと。

B こきゆうの音**おと**もさせないで、じつとして**おと**いること。

C 楽**たの**しかったりききょう味**み**深**ぶか**かったりして、会**かい**話**わ**が活**かつ**発**ぱつ**に続**つづ**くこと。

D その場**ば**にいる大勢**おおぜい**の人**ひと**々が静**しず**まりかえるさま。

次の に当てはまる言葉をあとの から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① を正して校長先生のお話を聞く。

② いつも にはまった考え方だけでは、面白くない。

③ を焼きすぎると、その人のためにならない。

④ 最後の試合に負け、ぼくたちは を飲んだ。

世話 えり 型 なみだ

A まじめな気持ちで、物事に対しよする。

B くやしさを、じつところらせる。

C 進んで他人のめんどろを見る。

D 決まりきった形式で、こせいがない。

国語 二一七	第三学年及び第四学年の内容 慣用句	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日
月 日

次の に当てはまる言葉をあとの から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① この本は、読むのにとても がおれた。

② 姉にはいつも助けてもらっているので、 が上がらない。

③ 悲しいニュースを聞いて、 がいたむ。

④ 夏休みに、久しぶりに親子 入らずの旅行をした。

水	むね	頭	ほね
---	----	---	----

A 労力がある。こんなんである。

B 心配事などで、苦しい思いや悲しい思いをする。

C 親しい者だけで集まっていること。

D 引け目を感じて、対等な関係に立てない。

国語 二一八	第三学年及び第四学年の内容 慣用句	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日
月 日

次の に当てはまる言葉をあとの から選**え**び、書**か**きましよう。また、 の慣**かん**用句の意味をあとのAからDの中**なか**から選**え**び、 に書**か**きましよう。

① 毎年**まいとしねんまつ**末は、 の手**て**もかりたいくらい**いそが**しい。

② あの人**ひと**は、 をよんで年**とし**を**ごまか**している。

③ にの**の**つて、一**いっ**気に勝**か**ち進**すす**んだ。

④ 上**じょうし**司に好**す**かれるために、 を**す**る。

さば	ねこ	ごま	波 <small>なみ</small>
----	----	----	---------------------

A 実**じつ**さいより多**おほ**く言**い**ったり、少**すく**なく言**い**ったりして数**かず**を**ごまか**す。

B だ**だ**れでも**い**いから、手**て**伝**だ**いがほ**ほ**しいこと。

C 調**ちようし**子にの**の**つて、その時**とき**の流**なが**れにう**う**ま**ま**く**の**ること。

D 人**ひと**の機**き**げ**ん**を**と**る**こ**と。

次の [] に当てはまる言葉をあとの [] から選び、書きましよう。また、 [] の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 [] に書きましよう。

① 校庭を五周走ることくらい、 [] 前だ。

② 選ばつりレーは、 [] にあせにぎる熱戦だった。

③ オリンピックへの出場が決まり、 [] が鳴る。

④ [] を打つばかりで、自分からは話さない。

あいづち	朝飯	手	うで
------	----	---	----

A うで前を発きしたくて、うずうずする。

B 相手の話に調子を合わせて、受け答えをする。

C きわめてかんたんなこと。

D 見たり聞いたりしながら、こうふんしたりきんちようしたりする。

国語 二一十	第三学年及び第四学年の内容 慣用句	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日
月 日

次の に当てはまる言葉をあとの から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① 弟はがんばりすぎるので、時々 をかける必要がある。

② 時代の流れにさからえず、ついに を下ろした。

③ 今度の休みには、温せんに行つて 休めをする予定だ。

④ お年玉のことを考えると、 がおどる。

ブレーキ のれん むね ほね

A 期待やこうふんで、心がわくわくすること。

B その日のえいぎようを終える。また、商売をやめる。

C 体を休めて、つかれをいやすこと。

D 物事の進行を、止めたりおさえたりする。